

新たなビジネスを確実に生みスケールさせる方法
- ISO5600x（イノベーション・マネジメントシステム）の実践

会社紹介

ISO5600xについて

当社のISO実践プロセス

デモ

サービス紹介

ごあいさつ

ごあいさつ



私たち、システムコンシェルジュは「人」と「信頼」を最も大切にする会社です。決して自分たちだけの成長を追い求め、利益を追求するのではなく、常にお客さまのお困りごとに耳を傾け、それらをお客さまとともに解決していくことで、エンジニアをはじめとするSC人の成長を実現し、お客さまにも利益を享受いただき、その結果として関わるすべての人が幸せになるようなエコシステムの実現をめざします。エンジニアとお客さまが幸せになれる会社へ

代表取締役
飯田 健夫

A handwritten signature in black ink, appearing to read 'T. Iida' with a stylized flourish at the end.

会社概要

会社概要

会社名	株式会社システムコンシェルジュ	設立	2005年7月26日
代表取締役	飯田 健夫	資本金	1,000万円
所在地	東京都千代田区神田錦町2-11-7	従業員数	45名（役員・従業員・契約社員含む）
TEL	03-5577-5735	事業内容	・イノベーション創出・組織文化醸成事業 ・ビジネスプロセスアウトソーシング（BPO）事業 ・ジェネレーティブプロバイダー事業
拠点	大阪オフィス 大阪府大阪市北区梅田2丁目5番8号 千代田ビル西別館3階G号室 宮古島オフィス 沖縄県宮古島市平良字西里1018番地1 マティダヒルズ102号	主な取引先 (50順)	株式会社エヌオーイー 株式会社飯田産業 岐阜女子大学 株式会社SOYOKAZE 株式会社スコープ 田島ルーフィング株式会社 TIS株式会社 株式会社ヒューマントラスト 株式会社阪急交通社 株式会社マクシスコポーレーション メディカル・データ・ビジョン株式会社 株式会社ユニマットライフ
福利厚生	関東ITソフトウェア健康保険組合 福利厚生サービス：リロクラブ オフィス内：リフレクソロジー/カイロプラクティック/ロルフリング/コーヒー無料 退職金制度		

お客さまへ提供するサービス事業

お客さまの
経営課題

対話・共感
調査・検証

最適な解
決方法

継続可能
な運用

ジェネレーティブプロバイダー事業

ジェネレーティブプロバイダーとは、課題となるキーワードを伝えるだけで、解決策や最適なITツールを選定し、導入から運用までを支援する「コンサル能力を持つITプロバイダー」です。私たちは豊富な知識と経験で、信頼されるITパートナーを目指します。

デジタルトランスフォーメーション事業

予測困難なビジネス環境下においても、お客さまの継続的な成長を支援するために、DX化に必要な3つの要素に対してサービスを提供します。

- データの蓄積と分析基盤
- プロセスの自動化、データ連携
- イノベーション管理/プロジェクト管理/ナレッジ管理

ITインフラエンジニアリング事業

可用性・完全性・機密性が確保されたIT基盤によって、お客さまが継続的なITサービスの利用が可能になります。私たちのITサービスを稼働させるセキュリティ、ネットワーク、データ保護、稼働監視などの基盤技術によってお客さまのITサービスを支えます。

ビジネスプロセスアウトソーシング事業

深刻な人材不足を私たちの専門チームがお客さまのIT運用業務を支援します。本来のIT戦略機能を取り戻し、情報資産管理やヘルプデスク、PCキittingなどの作業領域を当社の専門チームが行います。ホスピタリティを重視した私たちのサポート力を実感してください。

最適な方法 (Process)

各種マネジメントシステム

(ITサービス管理、イノベーション管理、ナレッジ管理、プロジェクト管理、セキュリティ管理、人工知能 (AI) 管理など)

フレームワーク / ガイドライン

(Scaled Agile Framework®, ISO56002/ISO56001, ISO30401, ISO9001, ISO42001, ISMS, セキュリティ基準など)

経験・実績

(統合基幹業務システム、ビジネスインテリジェンス (BI)、文書情報管理、グループウェア、セキュリティなど)

高い技術力 (Technology)

ハードウェア (サーバー、ネットワーク機器・無線LAN, PC, PBX, IP電話など)

ソフトウェア (OS, アプリケーション、データベース、ミドルウェアなど)

セキュリティ

(ネットワーク/エンドポイント/SASE/ゼロトラスト/アプリケーションセキュリティなど)

デジタルトランスフォーメーション

(RPA, iPaaS, DWH, BI, 生成AI, テキストマイニングなど)

信頼される人 (People)

プロジェクトマネジメント力 (アジャイル・スクラム、ウォーターフォールなど)

イノベーション力 (イノベーション国際資格, イノベーションプロフェッショナル資格など)

技術力 (AWS資格, Oracle資格, LPIC/LinuC資格, CCNA資格, その他IT関連資格など)

業務理解力 (簿記, 販売士, 旅程管理主任者, 社労士, その他業務資格など)

当社の強み

当社の強み



IT Infrastructure (IT基盤技術)

堅牢なIT基盤がなければアプリケーションを稼働させることはできません。私たちはThe Linux Foundationを支援する日本を代表するエンジニアを技術顧問とし、最新のIT技術を求めつつ、過去の技術にも目を向けお客さまが求める最適な技術の探求とサービス提供を行います。

IT Tools (先進的なツール活用)

変化に素早く対応するには、活用できる技術やツール、ライブラリなどを知り、実際に利用することが重要です。私たちはITツールや技術を探求し、実際に体感することで最高のサービスが提供できると考えています。私たちの社内では多くのツールを活用しています。

IT Practices (成功と失敗によって研鑽される方法論)

ツールや技術自体は価値とはいえません。価値を感じてくれるお客さま、喜んでくれる方々がいて価値に変えることができます。予測不可能な社会のなかで継続的な価値を提供するために、日本初の国際標準企画ISO56002 (イノベーション・マネジメントシステム) の認証を取得し、他では実践していないイノベーションの仕組みを作りました。この仕組みや方法論をお客さまへサービス提供し、「私たちからお客さまへ」「お客さまから私たちへ」それが私たちの考えるチームワークと価値あるサービスの方法論です。

当社の強み

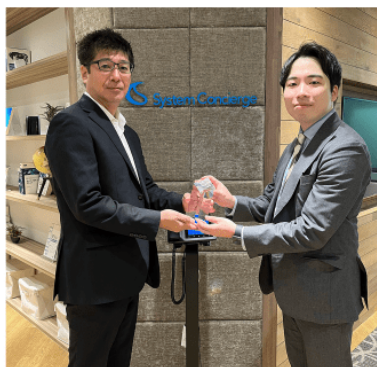
日本国内初のISO56002（イノベーション・マネジメントシステム）の認証取得



イノベーションの国際標準規格「ISO56002」とは

「ISO56002」は、世界中のイノベーションを起こした企業のマネジメント手法を分析し、考え方や方法論を標準化したイノベーション・マネジメントシステムの国際標準規格です。新しい価値を創出し、価値の継続と向上を実現するためのガイドラインです。

人材育成・組織開発に関するアワード受賞



ラーニングイノベーションアワード2023とは

人的資本情報の開示が義務化され、人的資本経営への注目が日々高まる中、多くの日本企業が人材投資による取り組みを加速しています。ALL DIFFERENT株式会社は、人材育成に取り組む企業に様々な事例を紹介し、新たな知見や視点を提供するために、年に一度「ラーニングイノベーションアワード」を開催し、人材育成・組織開発において優れた取り組みを行っている企業を表彰しています。ラーニングスパイラル賞は、「気づく」「学ぶ」「できる・変わる」「続ける」の全ステップを構築し、実効を上げている企業に授与されます。

主要な顧客

旅行・観光業界



金融・保険業界



製造業界



IT業界



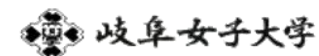
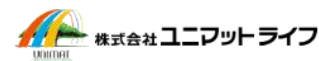
介護・ヘルスケア業界



広告・メディア業界



その他、人材派遣・飲食など



会社紹介

ISO5600xについて

当社のISO実践プロセス

デモ

サービス紹介

ISO5600x（イノベーション・マネジメントシステム）とは

ISO 56000シリーズの概要

ISO 56000シリーズは、組織がイノベーションを管理し、成功させるための一連の指針と要求事項を提供します。企業、政府機関、非営利団体など、あらゆる種類の組織が利用可能です。

主な目的

イノベーションの体系的管理

偶発的なイノベーションではなく、戦略的・組織的にイノベーションを推進するための枠組みを提供。

持続的な競争優位性の確保

変化の激しい市場環境に適応し、継続的に革新を生み出す能力を高める。

組織文化の変革

イノベーションを生み出しやすい企業文化の構築を促進。

ISO 56000シリーズは、企業や組織がイノベーションを体系的に管理し、持続的に成長するための国際規格です。とくに、**ISO 56002およびISO 56001はBSIジャパンによって認証可能な規格**であり、ISO 9001やISO 14001などの他ISOと統合して運用することも可能です。

ビジネス組織がISO 56000シリーズの取り組みをすることで、

戦略的かつ体系的なイノベーション管理によって、特定の人員による感覚的なビジネス推進が組織機能として成功率の高いビジネス推進が行えるようになります。

ISO5600x (イノベーション・マネジメントシステム) とは

マネジメント規格

ISO 規格番号	日本語タイトル	主な内容
ISO 56001	イノベーションマネジメントシステム — 要求事項	イノベーションマネジメントシステムの要求事項を規定。


基本規格

ISO 規格番号	日本語タイトル	主な内容
ISO 56000	イノベーションマネジメント — 基礎と用語	イノベーションマネジメントに関する基本概念と用語の定義。
ISO 56002	イノベーションマネジメント — イノベーションマネジメントシステム — ガイダンス	イノベーションマネジメントシステムの実装ガイドライン。

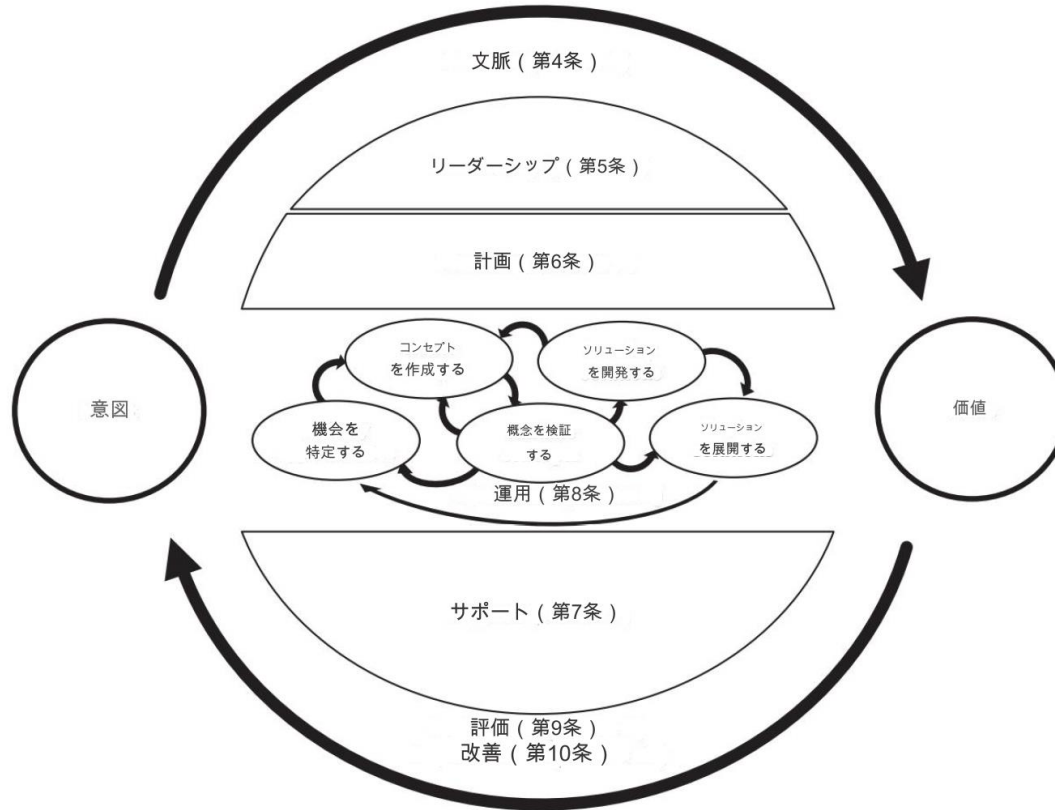
個別規格

ISO 規格番号	日本語タイトル	主な内容
ISO 56003	イノベーションマネジメント — イノベーションパートナーシップのためのツールと方法	イノベーションパートナーシップを形成するための方法論。
ISO 56004	イノベーションマネジメント評価 — ガイダンス	イノベーションマネジメントの評価方法に関するガイド。
ISO 56005	イノベーションマネジメント — 知的財産管理のためのツールと方法	イノベーションにおける知的財産管理のガイドライン。
ISO 56006	イノベーションマネジメント — 戦略的インテリジェンス管理 — ガイダンス	戦略的インテリジェンスの管理方法に関する指針。
ISO 56007	イノベーションマネジメント — アイデアマネジメント	アイデア管理のためのプロセスとツール。
ISO 56008	イノベーションマネジメント — イノベーション運用測定のためのツールと方法	イノベーション活動の測定および評価のためのツールと方法。
ISO 56010	イノベーションマネジメント — ISO 56000の実例集	ISO 56000シリーズの概念を説明するため、さまざまな業界の具体例を提供。イノベーション管理システムを理解しやすくするための事例や図解が含まれています。

2023年：JIS規格化
JIS Q 56002:2023イノベーション・マネジメントシステム

 = 発行済み

ISO56001 / 56002 (イノベーション・マネジメントシステム) の基本体系



章	タイトル
1	適用範囲
2	引用規格
3	用語及び定義
4	組織の状況
5	リーダーシップ
6	計画
7	支援体制(サポート)
8	活動
9	パフォーマンス評価
10	改善

ISO56001の基本体系

会社紹介

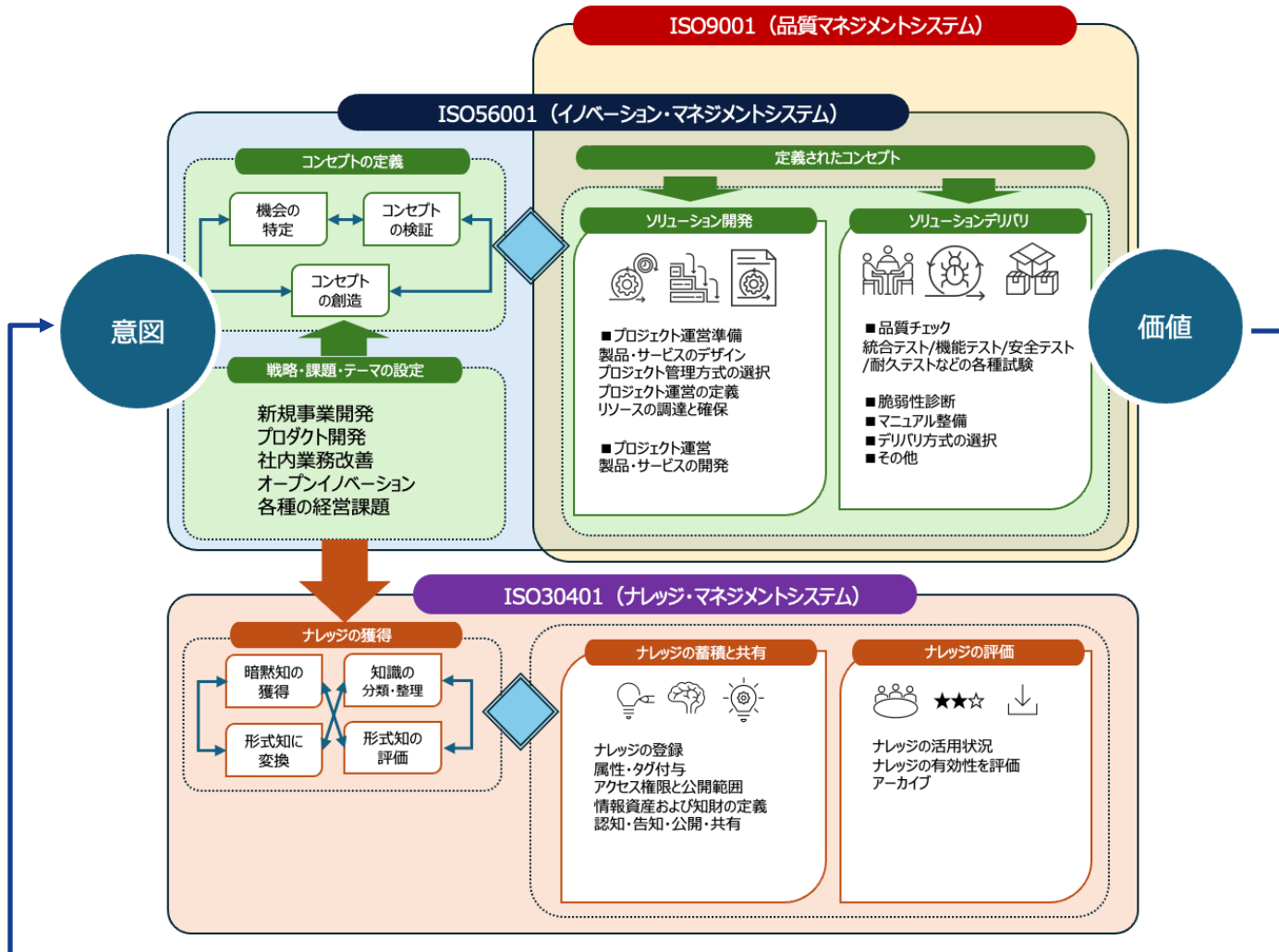
ISO5600xについて

当社のISO実践プロセス

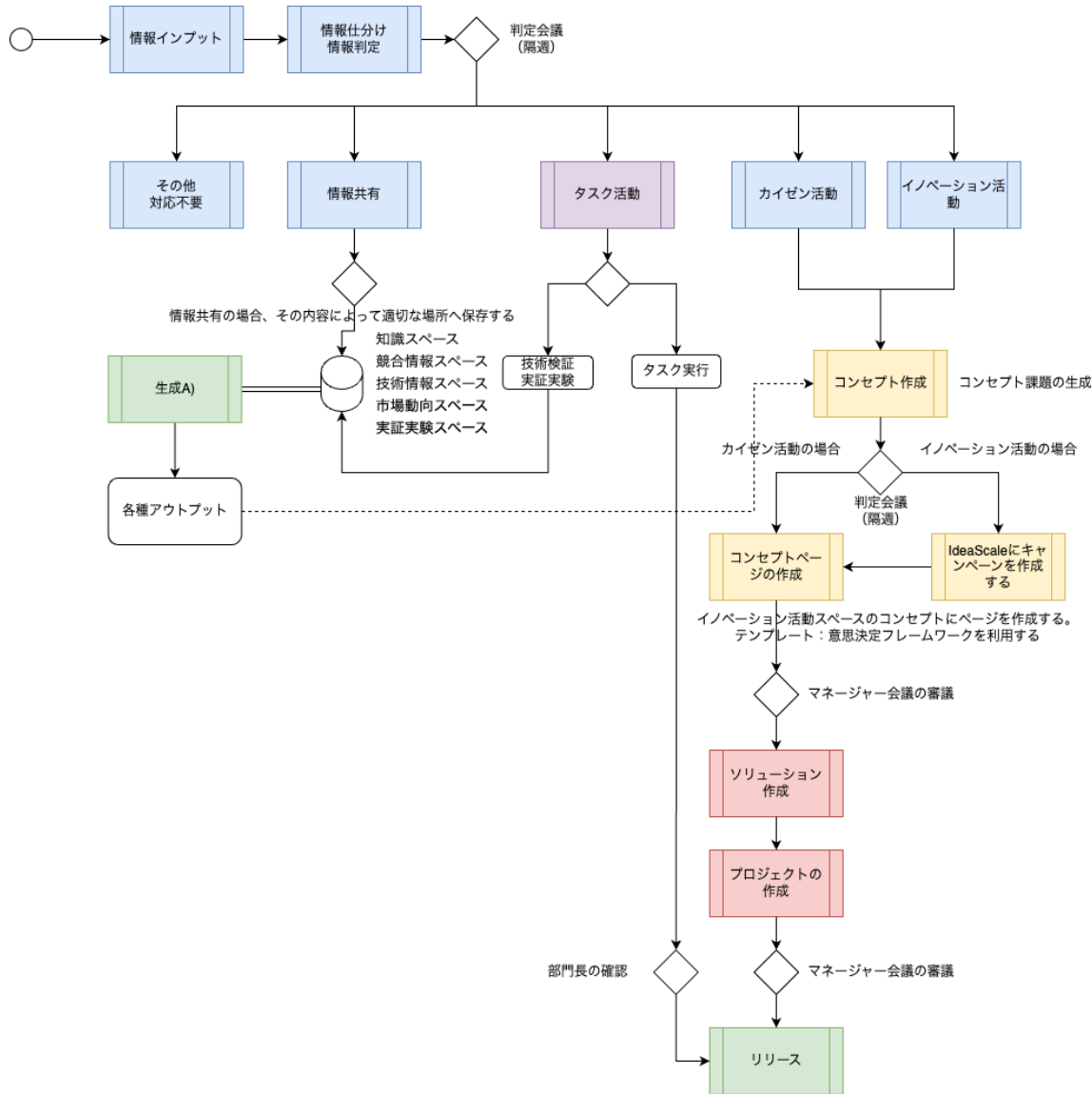
デモ

サービス紹介

株式会社システムコンシェルジュの取り組み



= 情報インプット
 = コンセプト
 = ソリューション
 = 単一部門または個人タスク



イノベーション活動

既存にないビジネスや業務、取り組みなどアイデアを収集するなど活動が必要な場合（組織活動）

カイゼン活動

既存のビジネスもしくは業務プロセスなどの改善活動（組織活動）

タスク活動

個人もしくは単一の部門で対応可能なもの情報の真意を確認することも、タスク活動として割り当てすることもある。

情報共有活動

活動までは行う必要がなく、関係部門に情報共有をしたり、ナレッジ管理に情報を格納して知識として活用したり行うもの

その他対応不要

当社の事業に無関係、もしくは本取組みの適用範囲外である。

有料サービスであり、情報が入手できない。

株式会社システムコンシェルジュの取り組み

プロジェクト管理 ONES Project

ISO56002	ISO9001	ISO30401	名称	説明	ISO56002への適用
○	○	○	イノベーション活動	ISO56001およびISO56002の「8.活動」のプロセス管理を行うためのプロジェクト	「4.組織の状況」 「6.計画」-「6.4 イノベーションのポートフォリオ」 「8.活動」-「8.3.2 機会の特定」、「8.3.3 コンセプトの創造」、「8.3.4 コンセプトの検証」 「9.パフォーマンス評価」
○		○	知的財産管理	特許、実用新案、商標などのプロセスを管理	「7.支援体制」-「7.8 知的財産のマネジメント」 「8.活動」-「8.3.5 ソリューションの開発」、「8.3.6 ソリューションの導入」
○			IMS改善活動	内部監査、認証審査、運用によって明らかになった改善の機会、税制措置を改善する活動	「10.改善」
○	○		各種プロジェクト活動	コンセプト化され、承認されたプランを実現するためのプロジェクト活動を管理する	「8.活動」-「8.3.5 ソリューションの開発」、「8.3.6 ソリューションの導入」

株式会社システムコンシェルジュの取り組み

ナレッジ管理 ONES Wiki

ISO56002	ISO9001	ISO30401	名称	説明	ISO56002への適用
○			ISO56002認証ガイドライン (イノベーション管理規定)	IMSの運営に関するルールやガイドライン、ハンドブックなどを公開	イノベーション・マネジメントシステム（IMS）のすべて リーダーシップのコミットメントなども含めて、すべてのルールがこちらに記載されている
○			イノベーション活動	IMSの運営に関する計画と実行の結果を保存するスペース。 会社方針などから、イノベーション・マネジメントシステムの計画を策定する。 「8.活動」における会議の議事録、「9.パフォーマンス評価」のマネジメントレビューなどの報告書を保存する。	「6.計画」 「8.活動」-「8.3.3 コンセプトの創造」※文書化の部分 「9.パフォーマンス評価」-「9.3 マネジメントレビュー」 ※「9.2 内部監査」については、内部監査責任者/担当者に一任
○			バンダーディレクトリ	外部リソース：外部協力者の情報を登録	「7.支援体制」-「7.1.4 知識」、「7.1.6 インフラストラクチャ」、「7.2 力量」
○	○	○	メンバーディレクトリ	内部リソース：内部メンバーの経験やスキル、資格、思考特性などを登録	「7.支援体制」-「7.1.2 人材」
○		○	しくじり先生	失敗・反省・振り返りの登録スペース この登録したら情報インプットを行う	「7.支援体制」-「7.1.4 知識」 「10.改善」
△	○		プロジェクト管理規定	プロジェクト管理に関する規定を記載。 機会の特定、もしくはコンセプト創出時に発番したプロジェクト番号と引き継ぐ	「8.活動」-「ソリューションの開発」、「ソリューションの導入」
△		○	ナレッジ管理規定	情報インプットとのナレッジを紐付けする。 ナレッジを適切なカテゴリに保存し、生成AIでのハルシネーションを軽減させる などが目的	「7.支援体制」-「7.1.4 知識」
	○		品質管理規定	プロジェクト管理との紐付け、テスト方法などの規定を記載	
△		○	知識ベース（外部）	外部情報を蓄積する	「7.支援体制」-「7.1.4 知識」
△		○	知識ベース（内部）	内部情報を蓄積する	「7.支援体制」-「7.1.4 知識」
○			知的財産管理	特許、実用新案などの情報を登録	「7.支援体制」-「7.8 知的財産のマネジメント」
△		○	市場動向スペース	市場動向のニュースや情報を蓄積する	「7.支援体制」-「7.1.4 知識」
△		○	実証実験・評価検証スペース	タスク活動によって検証した結果を登録する	「7.支援体制」-「7.1.4 知識」
△		○	競合情報スペース	競合情報を蓄積する	「7.支援体制」-「7.1.4 知識」
△		○	技術情報スペース	技術情報を蓄積する	「7.支援体制」-「7.1.4 知識」

株式会社システムコンシェルジュの取り組み

テスト管理 ONES TestCase

※ ONES TestCaseは有料プランのアドオン

ISO56002	ISO9001	ISO30401	名称	説明	ISO56002への適用
	○		テスト計画	テスト計画を作成して、テストを実施する（プロセス管理）	
	○		テストレポート	テスト結果の報告書	

会社紹介

ISO5600xについて

当社のISO実践プロセス

デモ

サービス紹介

ナレッジ管理のスペース一覧

スペース 🔍 + スペースを作成

スペース	説明	最近の参照	最近の更新
<input type="checkbox"/> D ISO56002認証-ガイドライン	↑ -	2025-03-02 15:...	2025-02-13 1...
<input type="checkbox"/> D イノベーション活動	↑ イノベーション・マネジメントシステム (IMS) の運営...	2025-03-01 15:...	2025-02-18 1...
<input type="checkbox"/> D イノベーション推進室_部門運営	↑ -	2025-02-13 09:...	2025-02-01 1...
<input type="checkbox"/> D 補助金・助成金	↑ -	2025-02-05 13:...	2024-10-10 1...
<input type="checkbox"/> D ISO56002 (和訳)	ISO56002の書籍の和訳	2025-03-02 16:...	2025-03-02 1...
<input type="checkbox"/> D 知的財産管理	-	2025-02-13 13:...	2025-02-13 1...
<input type="checkbox"/> D ベンダーディレクトリ	-	2025-02-13 11:...	2025-02-13 1...
<input type="checkbox"/> D しくじり先生	-	2025-02-04 12:...	2025-02-03 1...
<input type="checkbox"/> D メンバーディレクトリ	-	2025-02-04 12:...	2025-02-03 1...
<input type="checkbox"/> D 外部および内部の情報収集箱	-	2025-02-03 10:...	2024-10-04 1...
<input type="checkbox"/> D 認証・認可・許可	-	2025-02-03 10:...	2024-10-04 0...

スペース

カテゴリ + ☰ | ✕

- ☐ すべてのスペース
- ▼ ☐ 組織
 - ☐ 管理部
 - ☐ D イノベーション推進室
 - ☐ マーケティング部
 - ☐ ソリューション営業部
 - ☐ カスタマーサクセス部
 - ☐ IS1部 | インフラソリュー...
 - ☐ IS2部 | インフラソリュー...
 - ☐ 開発部
- ☐ 個人 (パーソナル)
- ☐ クラブ活動
- ☐ プロジェクト
- ☐ ナレッジ共有
- ☐ その他
- ☐ 削除予定

ナレッジ管理のスペース一覧

スペース 🔍 + スペースを作成

スペース	説明	最近の参照	最近の更新
<input type="checkbox"/> D 知識スペース	イノベーション活動において情報共有判定された情報を...	2025-02-28 17:...	2025-02-20 1...
<input type="checkbox"/> D 市場動向スペース	イノベーション活動によって市場動向や市場調査などの...	2025-02-28 10:...	2025-02-28 1...
<input type="checkbox"/> D SC業務に関するナレッジ共有	システムコンシェルジュ社内の業務に関するナレッジを...	2025-02-19 10:...	2025-02-19 1...
<input type="checkbox"/> D 実証実験・評価検証スペース	生成AIなどの新しいツールを検証し、業務への有効性を...	2025-02-19 09:...	2025-02-19 0...
<input type="checkbox"/> D 競合情報スペース	イノベーション活動によって得た競合情報を格納するス...	2025-02-14 10:...	2025-02-07 1...
<input type="checkbox"/> D 技術情報スペース	イノベーション活動によって得た技術情報・知識を登録...	2025-02-14 10:...	2025-02-04 0...

スペース

カテゴリー + ☰ | ✕

- ☐ すべてのスペース
- ▼ ☐ 組織
 - ☐ 管理部
 - ☐ イノベーション推進室
 - ☐ マーケティング部
 - ☐ ソリューション営業部
 - ☐ カスタマーサクセス部
 - ☐ IS1部 | インフラソリュー...
 - ☐ IS2部 | インフラソリュー...
 - ☐ 開発部
- ☐ 個人 (パーソナル)
- ☐ クラブ活動
- ☐ プロジェクト
- ☐ ナレッジ共有
- ☐ その他

ナレッジ管理側

ナレッジベース管理 > スペース > 組織 > イノベーション推進室

ISO56002認証-ガイドライン

検索または質問する

ホームページ

スペース アナリティクス

目次

- イノベーション・マネジメントシステム基本方針書
- IMS0-000 | IMS基本方針定義書 (トップポリシー)
- IMS0-001 | IMS管理マニュアル (総則)
- IMS1-001 | イノベーション活動マニュアル (細則)
 - IMS1-001 | イノベーション活動プロセス
 - 2.2 機会の特定.docx
 - 2.3 コンセプトの創出と検証.docx
 - 2.4 ソリューション開発と導入.docx
 - IMS1-002 | イノベーション活動支援マニュアル
 - IMS1002 | イノベーション活動支援
- IMS1-003 | 情報収集に関する規定 (細則)
- IMS1-004 | 価値提案制度規定 (細則)
- IMS1-005 | 会議運営規定 (細則)
- IMS1-007 | IMS適用範囲定義 (細則)
- IMS1-008 | 教育・訓練実施規程 (細則)
- IMS1-009 | IMSハンドブック (細則)
- IMS1-010 | 内部監査実施規程 (細則)
- IMS1-011 | マネジメントレビュー規定 (細則)
- IMS1-012 | 文書情報管理規定 (細則)
- IMS1-013 | 知的財産管理規程
- IMS1-014 | イノベーション運営管理規定
- IMS1-015 | IMSインフラストラクチャー一覧表
- IMS1-016 | IMS力量要件表

ホームページ > イノベーション・マネジメントシステム基本方針書

編集 共有 印刷 共有 ... その他

イノベーション・マネジメントシステム基本方針書

大塚 和彦 2024年10月03日 18時44分に編集しました 10回の表示

イノベーション・マネジメントシステム基本方針書

株式会社システムコンシェルジュ (以下、当社) は、社名のとおり、お客様が抱える様々な要望や相談、お悩みに丁寧に応え、当社の知識・経験・技術・人的ネットワークを最大限に発揮して解決をすることで、お客様に満足していただくことを目指しています。

これらを達成するためには個人ではなく組織 (チーム) として活動することが必須事項であり、イノベーション・マネジメントシステム (以下、IMS) が重要な役割を担うことを認識し、経営の最重要課題として取り組みます。

当社は、以下の基本方針に従い、イノベーション・マネジメントシステムを推進していくことを宣言します。

- 役員、およびIMSに関わる者は、イノベーション活動の重要性を認識し、本イノベーション・マネジメントシステム基本方針書および関連する規定を遵守して活動を行います。
- 役員、およびIMSに関わる者は、社会、経済、政治、地理、顧客、取引先、株主、従業員などの情報は機会と脅威を察知する重要な要素であることを理解し、適切に報告 (情報インプット) を行います。
- IMS活動は法令や規格、倫理を遵守して活動いたします。
- IMS活動が有効性を維持し高めるための点検・確認および改善活動を定期的 to 実施します。

2023年7月1日

代表取締役 飯田 健夫

リアクションを追加しましょう

アクティビティ

すべて コメント (0) ファイル 変更ログ

プロジェクト管理の一覧

プロジェクト管理 | **プロジェクト** +

すべてのプロジェクト 作業前 進行中 完了 アーカイブ済み WF マーケティング部 **IMS** ⚙️ ビュー管理 ⚙️ プロジェクト管理設定

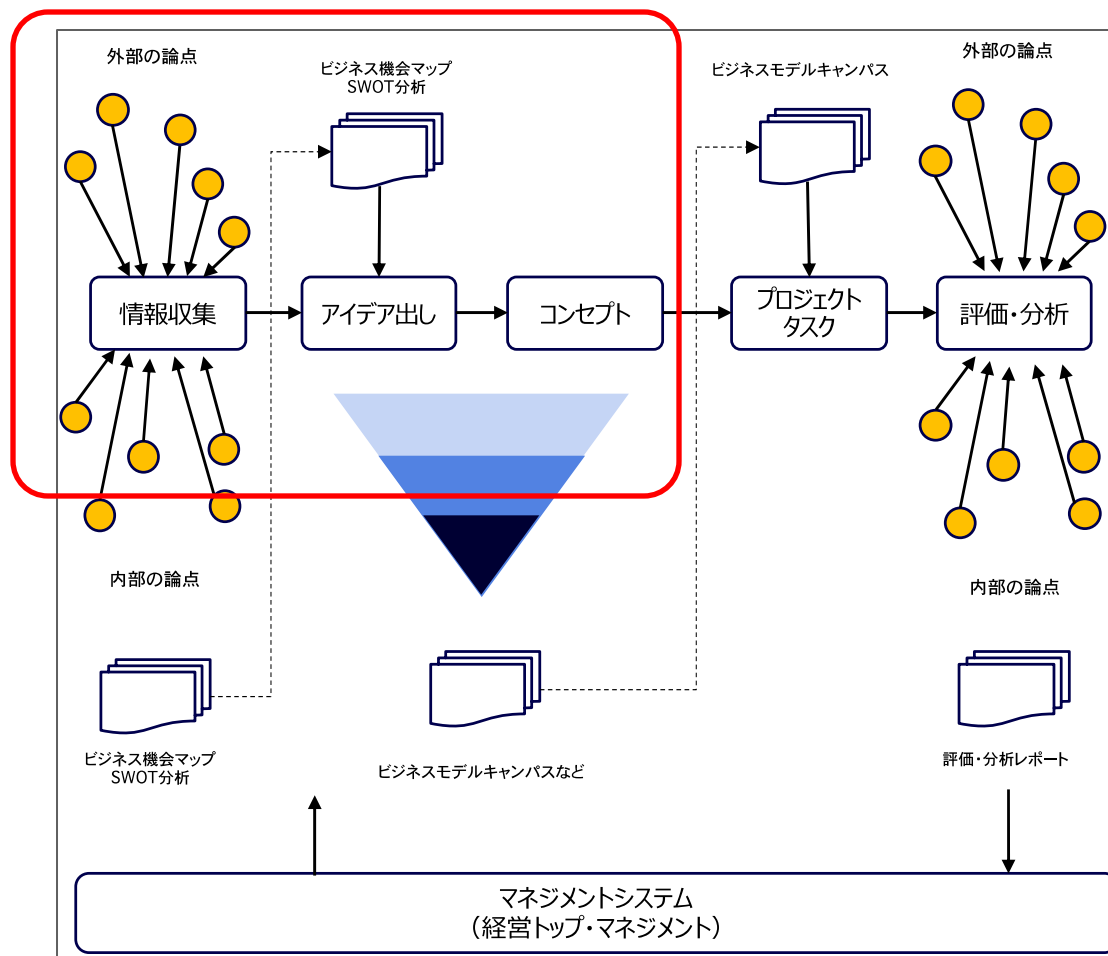
+ プロジェクトを作成 合計 6 個 その他 ▾ フィルター ▾ ¹ 🔍 ☰

6 件の結果: 主管部門が「イノベーション推進室」を含む × [条件をクリアする](#)

プロジェクト名	ステータス	担当者	課題の完了度 [?]	スプリント数	⚙️
イノベーション活動 ★	進行中	大塚 和彦	89% <div style="width: 89%;"><div style="background-color: #0070c0; height: 10px;"></div></div>	0	
IMS改善プロジェクト	作業前	大塚 和彦	50% <div style="width: 50%;"><div style="background-color: #0070c0; height: 10px;"></div></div>	0	
IMSPJ149 情報収集プラットフォーム開発ブ...	完了済み	大塚 和彦	7% <div style="width: 7%;"><div style="background-color: #0070c0; height: 10px;"></div></div>	5	
IMSPJ1639 ONES訴求メッセージの再構築	作業前	大塚 和彦	33% <div style="width: 33%;"><div style="background-color: #0070c0; height: 10px;"></div></div>	0	
IMSPJ1733 管理部の問い合わせ管理	作業前	大塚 和彦	100% <div style="width: 100%;"><div style="background-color: #0070c0; height: 10px;"></div></div>	3	
知的財産管理	進行中	大塚 和彦	0% <div style="width: 0%;"><div style="background-color: #0070c0; height: 10px;"></div></div>	0	

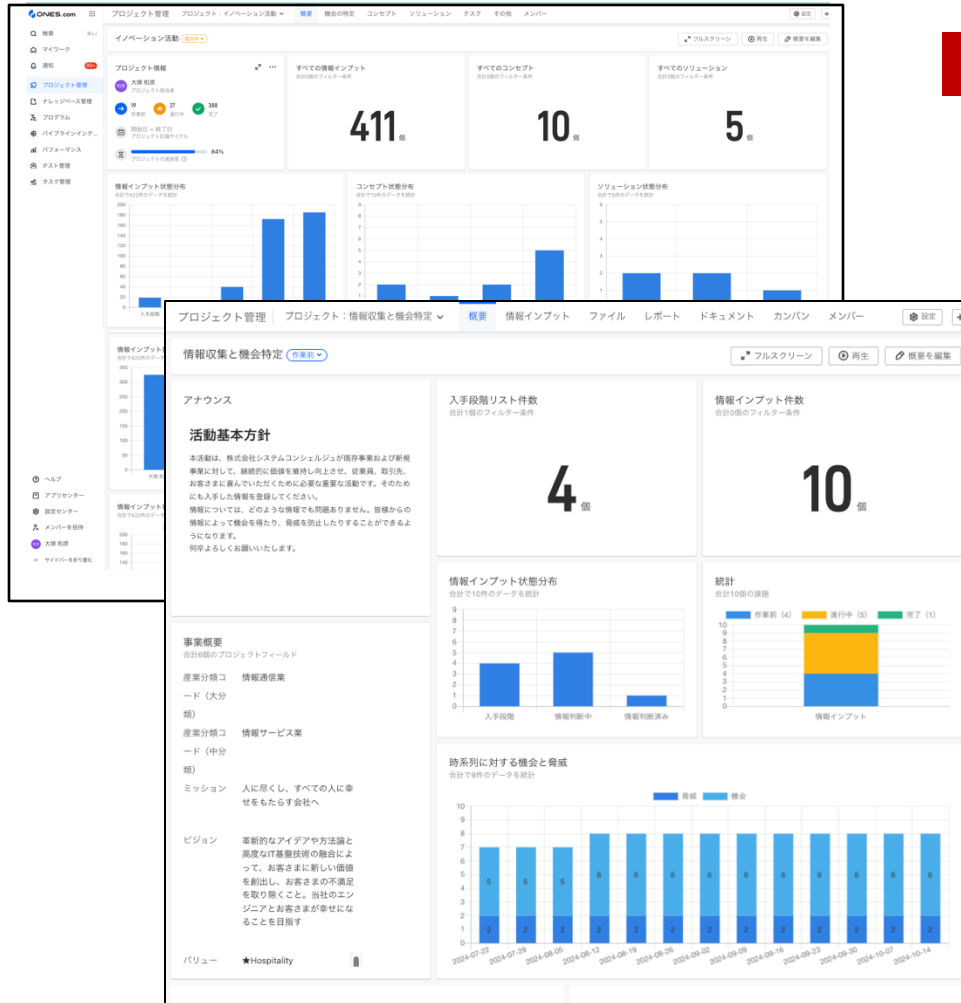
デモの範囲

「4. 組織の状況」、 「8.活動」 - 「8.3.2 機会の特定」、 「8.3.3 コンセプトの創造」 まで



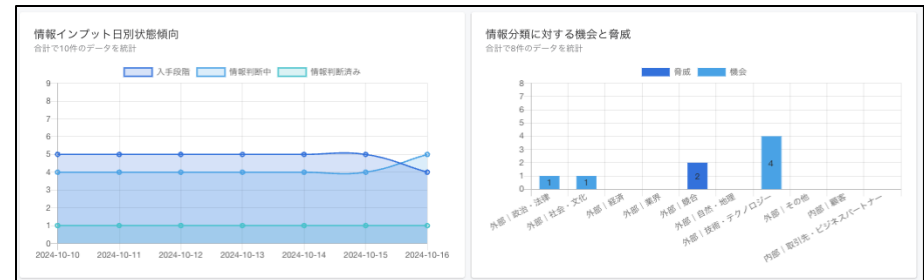
情報収集と機会と脅威を特定する仕組み

イノベーション活動を可視化するダッシュボード機能



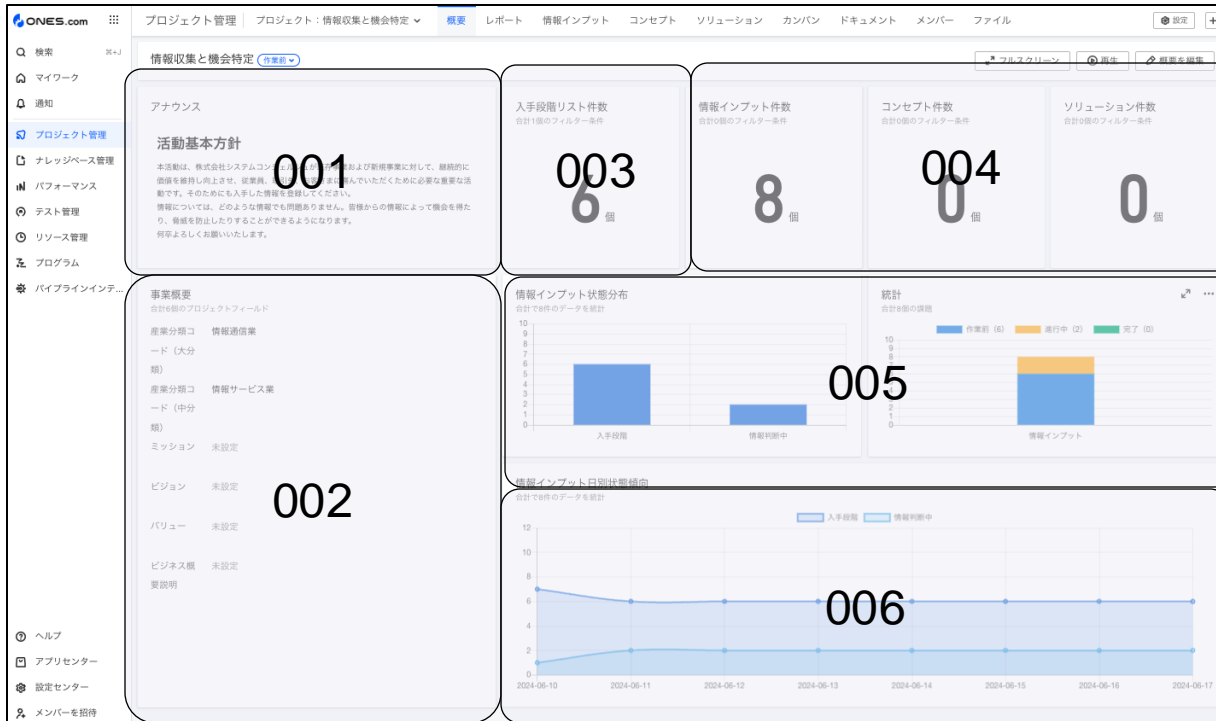
適用範囲

「4.組織の状況」
 「6.計画」 - 「6.4 イノベーションのポートフォリオ」
 「8.活動」 - 「8.3.2 機会の特定」、「8.3.3 コンセプトの創造」、
 「8.3.4 コンセプトの検証」
 「9.パフォーマンス評価」



情報収集と機会と脅威を特定する仕組み

イノベーション活動を可視化するダッシュボード機能



「情報収集と機会の特定」のプロジェクトのダッシュボードでは、以下のように状況を把握できます。

001	活動方針：なぜこの活動が重要なのかを説明する情報	004	情報の総件数
002	目的や目指すこと：情報判定をするための指針となる情報	005	情報判定までのステータス別のグラフ
003	新着情報の件数	006	情報の時系列の状態

情報収集と機会と脅威を特定する仕組み

情報インプットをクリックして、入手した情報を登録します。

すべての情報インプット 作業前 進行中 完了 情報仕分けボード 入手段階リスト

+ 情報インプット 合計 18個 情報判断済み (5)

情報インプットを作成

タイトル

プロジェクト

優先度

情報分類 (大分類)

情報分類 (中分類)

影響度

担当者

対応判定

URL

判定理由

詳細

2024年の生成AIの展望——生成AIは“試用”から“活用”へ

大塚和彦 情報判断済み 普通

AI革命の火付け役となったChatGPTには、さまざまな機能が追加されています。2023年7月に提供がはじまった「GPT-4」では入力できるトークン数が増大したほか、外部ファイルの取り込みも可能になりました。さらに昨年11月には「GPT-4o」の提供がはじまり、会話によって独自のアプリケーションを開発するなど、GPTをカスタマイズできるようになりました。これによって特定の作業や対話に特化したGPTを簡単に呼び出せるほか、調整したGPTを公開することで他のユーザーに提供することも可能になりました。

2024年2月にはユーザーとの会話履歴を記憶する「Memory」機能が追加され、テスト運用がはじまりました。この機能により、ChatGPTはユーザーとの対話履歴を参照し、過去の出力内容や、対話結果を利用することができるようになりました。これにより、対話履歴に基づいたChatGPTのパーソナライズ化が実現されています。このような機能の追加により、ChatGPTは単なるチャット用途だけでなく、導入すれば最新の生成AI機能を容易に活用できる「生成AIパッケージ」へと進化しているのです。

フィールド	情報判断済み	優先度	普通
ステータス	情報判断済み	優先度	普通
情報分類 (大分類)	外部	情報分類 (中分類)	未設定
情報分類	機会	影響度	0.影響度は判断できない
影響時期	1年以内に影響がでる	担当者	大塚和彦
期限日	未設定	対応判定	タスク 部門または個人...
情報入手元	手入力	URL	https://www.nri.com/jp/sum...

基本情報

プロジェクト 情報収集と機会特定 課題タイプ 情報インプット

作成者 大塚和彦 作成日時 2024-10-17 13:42:47

更新日時 2024-10-17 13:53:23

組織の状況を把握するための情報収集、機会と脅威の判定

外部の論点

インターネットニュース
新聞・雑誌・業界誌
展示会、イベント・セミナー
動画サイト
IR情報
勉強会、業界会合
学校・研究機関、コミュニティ
為替市場、社会情勢など
地政学的情報
法改正
など

内部の論点

取引先の情報
顧客の情報
従業員の情報
売上、利益の変化
重要案件の失注、受注情報
など

情報収集と機会と脅威を特定する仕組み

外部から入手した情報、「展示会」「顧客」「取引先」「勉強会」「接待」「新聞やWEBニュース」など、得た情報を登録しています。登録された情報を、定期的にイノベーション推進メンバーが属性判断を行います。

入手した情報を仕分け
ステータスを管理

属性を付与
影響を判断 (ビジネスインパクト)
優先順位付け
後続の対応方針を判定

フィールド	値	優先度	値
ステータス	入手段階	優先度	普通
情報分類 (大分類)	外部	情報分類 (中分類)	外部 政治・法律
影響分類	脅威	外部 政治・法律	外部 政治・法律
影響度		外部 社会・文化	外部 政治・法律
影響時期	1年以内に影響がでる	外部 経済	外部 政治・法律
期限日付	未設定	外部 業界	外部 政治・法律
情報入手元	手入力	外部 競合	外部 政治・法律
判定理由	未設定	外部 自然・地理	外部 政治・法律
		外部 技術・テクノロジー	外部 政治・法律

決められたサイクルで情報判定の会議体を開催する。

バイアスを排除するために、複数メンバーで話し合って判定を行う。

機会・脅威、情報分類、影響度、影響発生時期などを記載していく。

無料プランでここまでできる設定手順書

デモでご覧いただいた環境は、こちらの設定手順書を参照して構築ください。
もし、当社にて設定をご希望の場合は、ご連絡ください。

<https://systemcon.co.jp/resources/articles/press/press-20240918/>

ONES製品を活用した『情報判断の仕組み』の設定手順書を公開

2024年09月18日

報道関係者各位

株式会社システムコンシェルジュ

ONES製品を活用した『情報判断の仕組み』の設定手順書を公開

株式会社システムコンシェルジュ(東京都千代田区、代表取締役社長：飯田 健夫)は、国内初のISO56002(イノベーション・マネジメントシステム)認証取得企業です。このたびISO56002(イノベーション・マネジメントシステム)の認証取得の際に活用した「情報判断の仕組み」を設定するための手順書を無料公開いたします。この仕組みはISO9001やISO27001など、ISOの共通事項となる「組織の状況」に活用できるためISO認証取得企業のISO運用を支援するものと考えております。



会社紹介

ISO5600xについて

当社のISO実践プロセス

デモ

サービス紹介

ライセンス体系と価格

ONES製品は原則として、ナレッジ管理「ONES Wiki」と『ONES Project』の2つがセットになったプロダクトです。プランによって機能が異なりますが、オンプレミス版はエンタープライズプランのみの提供となります。

SaaS版のみ 30ユーザーまで利用可	SaaS版のみ	SaaS版のみ	オンプレミス版 もしくは SaaS版を選択
<p>フリー</p> <p>プロジェクト管理ツールの導入が初めての方へ</p> <p>0 円/月 永久無料</p> <p>製品 (機能制限あり)</p> <p>ONES Project, ONES Wiki</p> <p>Cloud</p>	<p>スタンダード</p> <p>プロジェクト管理における進捗追跡を効率化させたい方へ</p> <p>年間契約 30% オフ 840 円/1ユーザー/月 月額 1,200 円/1ユーザー/月</p> <p>製品</p> <p>ONES Project, ONES Wiki, ONES Resource, ONES Plan, ONES Automation, Pipeline Integration, ONES Account, Code Integration</p> <p>Cloud</p>	<p>ビジネス</p> <p>ビジネス現場における全般のプロジェクトを管理されたい方へ</p> <p>年間契約 30% オフ 1,920 円/1ユーザー/月 月額 2,880 円/1ユーザー/月</p> <p>製品</p> <p>ONES Project, ONES Wiki, ONES Resource, ONES Plan, ONES Automation, Pipeline Integration, ONES Account, Code Integration, ONES Performance</p> <p>Cloud</p>	<p>エンタープライズ</p> <p>業務最適化により企業の競争力を強化されたい方へ</p> <p>年間契約 30% オフ 2,880 円/1ユーザー/月 月額 4,080 円/1ユーザー/月</p> <p>製品</p> <p>ONES Project, ONES Wiki, ONES Resource, ONES Plan, ONES Automation, Pipeline Integration, ONES Account, Code Integration, ONES Performance</p> <p>Cloud, On-Premises</p>
<p>※1 価格は税抜です。 ※2 一部のプロダクトはCloudとOn-Premisesにより利用可能な機能が異なる場合があります。</p>		<p>有料プランでは、アドオンオプションをご提供します</p> <p>ONES Task, ONES TestCase, ONES Copilot 月額：600円/ユーザー</p>	

アドオンは別途費用となります。

ライセンス体系と価格

ONES製品は原則として、ナレッジ管理「ONES Wiki」と『ONES Project』の2つがセットになったプロダクトです。プランによって機能が異なりますが、オンプレミス版はエンタープライズプランのみの提供となります。

SaaS版のみ	SaaS版のみ	SaaS版のみ	オンプレミス版 もしくは SaaS版を選択
<p>30 ユーザーまで無料</p> <p>フリー（無料）</p> <p>プロジェクト管理ツール/ナレッジ管理ツールの導入が初めての方へ</p> <p>永久無料</p> <p>ストレージ無制限 / 監査ログ 1 年間</p>	<p>スタンダード</p> <p>プロジェクト管理における進捗追跡を効率化させたい方へ</p> <p>ストレージ無制限 / 監査ログ 1 年間</p>	<p>ビジネス</p> <p>ビジネス現場における全般のプロジェクトを管理されたい方へ</p> <p>ストレージ無制限 / 監査ログ 1 年間</p>	<p>エンタープライズ</p> <p>業務最適化により企業の競争力を強化されたい方へ</p> <p>ストレージ無制限 / 監査ログ 1 年間</p>
<p>主な機能</p> <p>プロジェクト管理・タスク管理 (アジャイルと一般的なタスク管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> プロジェクトテンプレート スプリント管理 <input checked="" type="checkbox"/> バックログ ダッシュボード / カスタムダッシュボード フィルタ/ビュー (リスト、テーブル、カンバン) パブリックビュー / プライベートビュー ステータス / ワークフロー フィールドと課題タイプ プロジェクトのアーカイブ プロジェクトフィールド / カスタムフィールド <p>ナレッジ管理</p> <ul style="list-style-type: none"> Wikiテンプレート (スペース / グローバル) スペースとページの権限管理 履歴バージョンと復元 <input checked="" type="checkbox"/> 強力な作図 <p>アクセス制御</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザーのロールと権限 <p>外部連携</p> <ul style="list-style-type: none"> Open API <input checked="" type="checkbox"/> Zapier <input checked="" type="checkbox"/> Slack <input checked="" type="checkbox"/> Figma Google サインイン <input checked="" type="checkbox"/> Microsoft Team <p>データ移行</p> <ul style="list-style-type: none"> Jiraからデータ互換と移行 Confluenceからデータ互換と移行 <p>Cloud</p>	<p>主な機能</p> <p>フリー以下の全機能に加えて</p> <p>プロジェクト管理・タスク管理 (アジャイルとウォーターフォールと一般的なタスク管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> ガントチャート マイルストーンと成果物 タスクの依存関係 ワークフロー自動化 <p>ナレッジ管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ページの外部公開 <p>Cloud</p>	<p>主な機能</p> <p>スタンダード以下の全機能に加えて</p> <p>プロジェクト管理・タスク管理 (アジャイルとウォーターフォールと一般的なタスク管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> ロードマップ 自動化ルール リソース管理 (工数管理) プロジェクトポートフォリオ管理 <p>ナレッジ管理</p> <ul style="list-style-type: none"> マインドマップ スプレッドシート Excelインポート / エクスポート <p>シングルサインオン / セキュリティ</p> <ul style="list-style-type: none"> Google SSO <input checked="" type="checkbox"/> Azure SSO <input checked="" type="checkbox"/> 高度セキュリティ設定 <input checked="" type="checkbox"/> 多要素認証 (MFA) <p>DevOps</p> <ul style="list-style-type: none"> 構成管理ツール連携 Jenkins連携 <p>Cloud</p>	<p>主な機能</p> <p>ビジネス以下の全機能に加えて</p> <p>プロジェクト管理・タスク管理 (アジャイルとウォーターフォールと一般的なタスク管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> PMO向けレポート CMMI開発プロセスの改善レポート 要件管理 / バグ管理レポート メンバー工数効率管理 カスタムレポート <p>オンプレミス対応</p> <ul style="list-style-type: none"> LDAP/AD CAS 2.0 SAML 2.0 API Kubernetes <p>Cloud On-Premises</p>

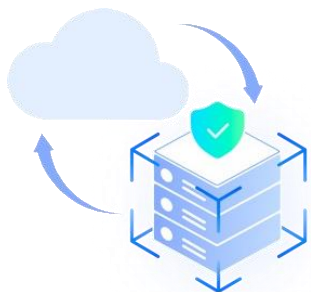
セキュリティと信頼性

ONES製品は、SaaS型のクラウドサービスとして必要なセキュリティ認証だけでなく、オンプレミス版の開発に必要な認証も取得しています。ONES.comはオンプレミス版にもコミットメントしています。

無料の
サポートコンテンツ

株式会社システムコン
シェルジュのサービス

信頼性と安全性の確保



クラウド・
オンプレミスサービス



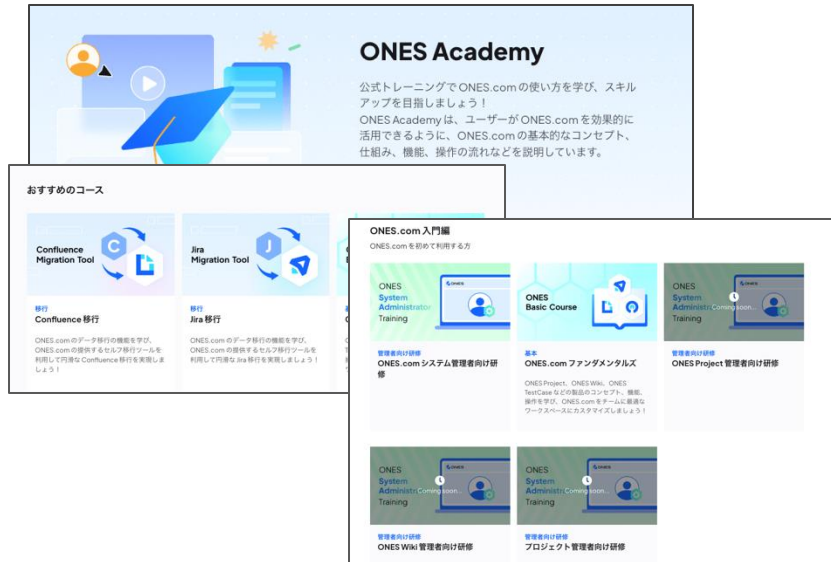
 <p>AICPA SOC 2 Type I</p> 	 <p>ISO 9001</p> 	 <p>ISO 20000</p> 
 <p>ISO 27001</p> 	 <p>ISO 27018</p> 	

※上記以外にもCMMI レベル3を取得しています。

サービス

無料のEラーニング (チーム全員が利用可能)

ONES製品は、無料のEラーニングサービスを提供しています。このサービスは誰でも利用することができます。ONES製品を利用するチーム組織の全従業員は、いつでも、どこでもONES製品の勉強を行うことができます。



<https://academy.ones.com/home-ja>

充実した日本語マニュアル

日本語でわかりやすい充実したマニュアルは、ONES製品の利用を手助けします。



<https://ja.docs.ones.com/>

セキュリティと信頼性

無料の
サポートコンテンツ

株式会社システムコン
シェルジュのサービス



株式会社システムコンシェルジュのサービス

株式会社システムコンシェルジュは、ITツールを通じて、組織に仕組み化を実現し、定着させるプロフェッショナルです。

セキュリティと信頼性

無料の
サポートコンテンツ

株式会社システムコン
シェルジュのサービス

	イノベーション管理	ナレッジ管理	プロジェクト管理
方法論	国際標準規格 ISO56002/ISO56001 Global Innovation Management Institute	国際標準規格 ISO30401/ISO42001 日本文書情報 マネジメント	アジャイル・スクラム ウォーターフォール SAFeなど
ITツール	IDEASCALE	 ONES Wiki	 ONES Project
支援	導入支援サポート 運用支援サポート	導入支援サポート 運用支援サポート	導入支援サポート 運用支援サポート
教育・教育 力量	イノベーション人材育成研修 デザイン思考研修 イノベーション・ワークショップ ISO56002概論 IdeaScale基礎	ISO30401概論 ONES Wiki基礎	アジャイル・スクラム研修 ウォーターフォール研修 ONES Project基礎

=基礎知識
 =提供ITツール
 =教育サービス
 =サポートサービス



私たちは、継続的な成長と成功を望むお客さまのコンシェルジュです。

お問い合わせ

株式会社システムコンシェルジュ

 k-ohtsuka@systemcon.co.jp  03-5577-5735